



# まち・ひと しごとと創生 人口ビジョン 総合戦略

TATEBAYASHI CITY  
SINCE2015—2020

概要版

 **館林市**

平成 27 年 10 月  
令和 2 年 3 月一部改訂  
(期間延長)



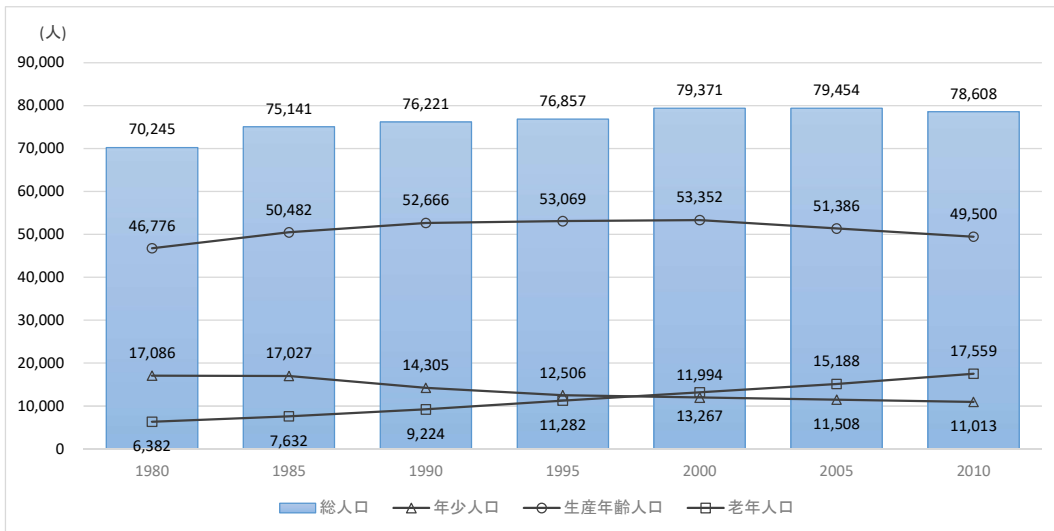
# 館林市人口ビジョン

## 人口ビジョンの位置づけ

人口減少の現状を打破すべく、政府は平成26年12月に、「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン・総合戦略」を策定しました。本市においてもこれを受け、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示す「館林市人口ビジョン」を策定しました。

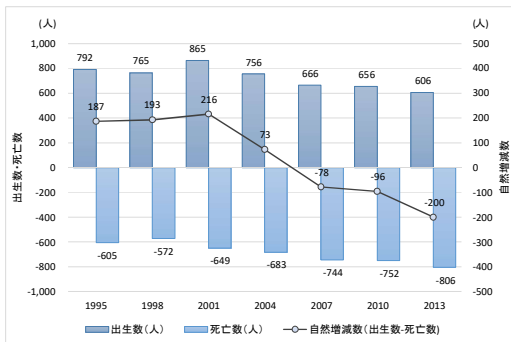
## 人口の現状と推移

本市の人口は2005年頃をピークに減少傾向に転じ、今後も減少すると推計されています。逆に老年人口の増加により、少子高齢化のさらなる進行が予想されています。



### 自然増減

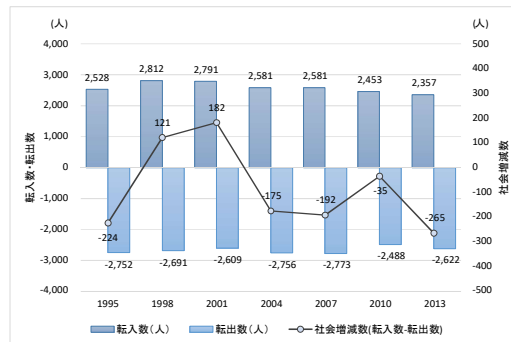
### 出生・死亡数の推移



出生数は、近年減少の傾向をたどっており、2007年には死亡数が出生数を上回り、以降、自然増減数はマイナス傾向に転じています。

### 社会増減

### 転入・転出数の推移



2002年以降、転出数が転入数を上回り、社会増減数がマイナスの状態が続いています。背景には、若い世代の市外への流出があります。

### まち

市税の減少  
空き家・空き店舗の増加  
中心市街地の衰退など

### ひと

老年人口割合の増加  
生産年齢人口の減少  
コミュニティの低下など

### しごと

労働力の低下  
基幹産業の衰退  
消費者数の減少など

## 人口の将来展望

### ポイント

将来を展望するうえでのポイント

- (1) 合計特殊出生率の改善
- (2) 10代～30代の若い世代の流出
- (3) 人口減少下での住み良いまちづくり

#### ストップ自然減

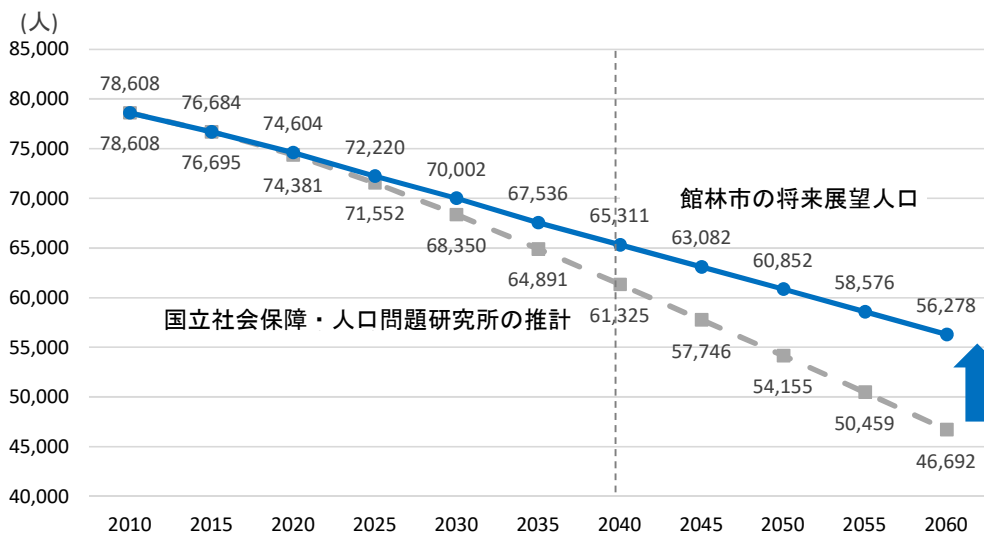
出生率の段階的な向上

#### ストップ社会減

若い世代の転出抑制、転入増

### 目標人口

2060年の将来展望人口 ▶▶ 56,000人



国の推計より約1万人増加

本市の施策を着実に実行することにより2040年に人口65,311人、2060年には、人口56,278人と国の推計と比べ約20%の人口改善が見込まれます。このことから、本市では、2060年に人口56,000人を確保し、将来にわたって持続可能なまちを目指します。



# 館林市総合戦略

## 基本的な考え方と期間

総合戦略は、国の計画や本市の人口ビジョンを踏まえ、人口減少への対応や経済の活性化に向けた6か年の施策をまとめたものです。この戦略では4つの基本目標を定め、本市の特色と地域資源を生かし、住んで良かった、住んでいてよかったと実感できるための施策をまとめています。

**戦略の期間 ▶▶ 平成27年度から令和2年度までの6年間**

## 基本方針

### 施策推進

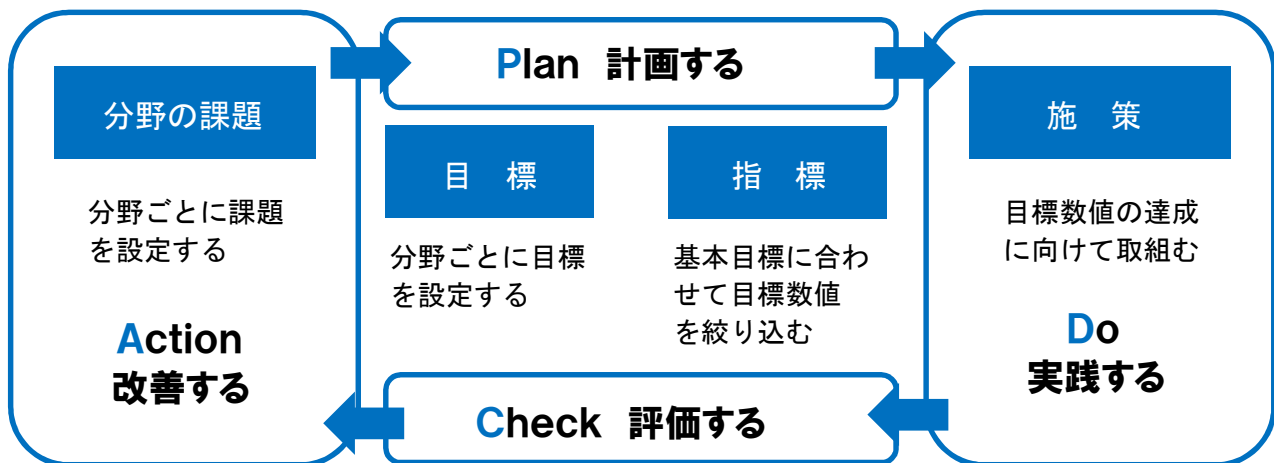
国の政策5原則を踏まえた「住民満足度」の高い施策の推進

戦略の策定にあたっては、国の総合戦略に盛り込まれた「政策5原則（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）」を踏まえ、本市における「人口減少と地域経済縮小の克服」、「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を目指します。また、本市の特徴を生かし住民が住んでいてよかったと思えるような「住民満足度」の高い戦略を展開していきます。

### PDCA

戦略の推進とフォローアップ

戦略の各施策の推進状況、取り組むべき内容については、総合計画との整合を図るとともに、平成27年の国勢調査の結果や各種意向調査の結果を加味し、定期的に取り組内容を検証・改善する仕組み（PDCAサイクル）を確立します。なお、検証にあたっては、有識者や専門機関等によって組織された検証機関を立ち上げます。



## 4つの基本目標

基本目標

1

地方における  
安定した雇用を  
創出する

国の総合戦略及び本市人口ビジョンを踏まえ、  
基本目標を次のとおり定めます。

「出会いと交流のある元気で活力のあるまち」を目指し、様々な面から産業振興の取組みを強化・拡充するとともに、社会環境の変化に柔軟に対応しながら、創業前から事業拡大までの様々な事業ステージに応じた切れ目のない支援を行います。

基本目標

2

地方への新しい  
人の流れをつくる

「便利で快適な住みやすいまち」「出会いと交流のある元気で活力のあるまち」を目指し、農業・食品産業等の産業や豊かな自然や地理的優位性などの強みを生かしたまちづくりを強化・拡充するとともに、本市の魅力アピールし、移住・定住希望者を増やします。

基本目標

3

若い世代の結婚・  
出産・子育ての希望  
をかなえる

「子どもたちが健やかに成長できるまち」を目指し、様々な面から子育て支援の取組みを進めています。

総合戦略においては、これらの取組みを強化・拡充するとともに、結婚や出産(産前・産後)・子育ての支援を継続的に行います。

基本目標

4

時代に合った地域を  
つくり、安心な暮らしを  
守るとともに、  
地域と地域を連携する

「より良好な環境の形成・保全と安全安心なまち」「便利で快適な住みやすいまち」を目指し、生活環境の整備や危機管理体制の充実などの取組みを進めるとともに、地域間連携や交通利便性を向上させるなど、人口減少下でも持続可能で活力あるまちを目指します。



## 目標① 地方における安定した雇用を創出する

成果指標	基準値	目標値
民営事業所従業者数 [出典：経済センサス]	33,512人（H24年度）	33,000人（R2年度）
民営の事業所に勤める従業者数。		

基本的方向① 農産物の付加価値化や農業の担い手確保による農業振興

基本的方向② 企業誘致の促進や地元企業への経営支援

基本的方向③ 産業の振興と創業支援

基本的方向④ 観光産業の振興と交流人口の増大



## 目標② 地方への新しい人の流れをつくる

成果指標	基準値	目標値
社会増減数 [出典：住民基本台帳人口移動報告]	△265人（H25年）	△155人（R2年）
本市への転入数から市外への転出数を差し引いた数。		

基本的方向① 館林の「食」文化の魅力発信

基本的方向② シティプロモーションの推進

基本的方向③ 「移住・定住」の促進



### 目標③

## 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

成果指標	基準値	目標値
合計特殊出生率 [出典：群馬県人口動態調査]	1.45 (H26 年度)	1.55 (R2 年度)
一人の女性が生涯に産む子どもの人数。15～49 歳までの女性の年齢別出生率の合計。		
婚姻数 [出典：群馬県人口動態調査]	352 件 (H26 年度)	360 件 (R2 年度)
本市に婚姻届を提出し、婚姻が認められた件数。		

#### 基本的方向①

結婚を希望する人への支援

#### 基本的方向②

妊娠・出産を希望する人への支援

#### 基本的方向③

子育て支援



### 目標④

## 時代に合った地域をつくり、 安心な暮らしを守るとともに、 地域と地域を連携する

成果指標	基準値	目標値
住みよさランキング [出典：都市データハック]	273 位 (H26 年版)	200 位以内 (R2 年版)
それぞれの市が持つ都市力を複数の観点から分析し、平均化したランキング。		

#### 基本的方向①

社会変化に対応したまちづくり

#### 基本的方向②

空き家・空き店舗の利活用

#### 基本的方向③

活気があり利便性の高い生活圏の形成

#### 基本的方向④

健康づくりの推進

#### 基本的方向⑤

地域連携による消防・防災の充実

人口減少はまったなしの課題です。本市の恵まれた自然環境の中で、暮らしやすさに満足感が得られる地域社会を創っていくためには、自ら考え、自ら行動する自発的な地域づくりが重要であり、地域の未来に希望を持ち、地域での心豊かな暮らしを次の世代へと受け継いでいくために、一丸となって地道に、前向きに取り組んでいく必要があります。

※本編は市ホームページでご覧になれます。

●平成27年10月発行

●令和2年3月一部改訂（期間延長）

**館林市**

〒374-8501 群馬県館林市城町1番1号 政策企画部企画課

TEL0276-72-4111（代表） <http://www.city.tatebayashi.gunma.jp/>

---